

社会福祉法人 八葉会

2023（令和5）年度 事業報告

2024(令和6)年5月24日

理事長	大門	今津	赤坂	東深津
				

(1) 運営		
1 設置名	社会福祉法人 八葉会	
2 代表者	理事長 金永恵美子	
3 本部所在地	広島県福山市大門町大門325番地	
4 施設	幼保連携型認定こども園 大門未来園（1978年4月1日開園） 福山市大門町大門60-2 幼保連携型認定こども園 今津未来園（2011年4月1日開園） 福山市今津町6丁目2-5 認定こども園 赤坂未来園（2016年4月1日開園） 福山市赤坂町赤坂337 小規模保育所 未来園東深津（2021年4月1日開園） 福山市東深津町3丁目3-14	
5 事業内容	第2種 社会福祉事業 (イ) 幼保連携型認定こども園の経営 (ロ) 一時預かり事業の経営 (ハ) 地域子育て支援拠点事業の経営 (ニ) 小規模保育事業の経営	
6 理念	基本理念 智慧を未来へ この子にとって より良い環境を創造し 大切な智慧を育てる 行動指針 ・元気に挨拶 明るい笑顔 ・周りをよく見て 進んで行動 基本方針 ・子どもが安心して生活できる環境を創る ・子どもたちのもつ無限の可能性を引き出す ・保護者との信頼関係を大切にし、共に育つ 目標 困難に立ち向かえる強さと、人の痛みのわかるやさしさをもつ子どもを育てる ・心身ともに健康な子 ・身のまわりの事を自分でできる子 ・人の思いを感じられる子 ・いきいきと自分を表現できる子 ・自分で考え、進んで行動できる子 ショルダーフリーズ 未来（あした） はばたくこの子を今日まもって一緒に歩く	
7 中期事業計画	法人が存続し成長していくために、法人が目指す姿を明確にし、中期的な方針や数値目標を具体化するため策定する。 2023年6月に一部改定、2024年3月に全面改定し、2024年度～2027年度を策定した。	
8 理事会・評議員会	報告別紙 1	
9 監査	① 監事監査 5月17日に大門未来園にて実施。 ② 内部監査 内部監査人（主幹・指導・副主任）が各園を2回訪問し、適正な運営がされてるか監査した。7月26日・1月29日（大門）7月6日・1月22日（今津）6月28日・1月15日（赤坂）7月4日・1月18日（東深津） ③ 行政監査 ・保育指導課の立入監査が、12月5日（大門・赤坂）12月14日（今津）8月3日（東深津）に実施された。 ④ 外部監査 なし	
10 法人移管	なし	
11 新規施設	なし	
12 当年度重点事業	・4園の各地域の特性を生かし、地域に根差した活動を行う。 …コロナ禍が落ち着き、以前のような行事や地域交流を少しずつ再開することができた。 ・4園が相互に連携し助け合うネットワークを構築して、共に高い質の教育・保育を目指す。 …経営会議と主幹会議を月1回行い、園間の情報共有を密に行った。主幹会議では、内部研修や内部監査、マニュアルの整備などを行い、業務の標準化を進めることができた。八葉会研修も以前のように行えるようになり、他園間の職員同士で学ぶことができた。 ・チーム保育を取り入れ、職員が協力できる体制を作り、保育の質や専門性の向上に努める。 …（大門）園内での異クラス保育体験や、サークル活動など職員同士が活発に交流できる機会を作った。また、会議でエピソード報告やグループ討議、オンライン研修など、職員が学んだり、意見交換をできるしくみ作りを行った。（今津）3.4.5歳児で3つの異年齢グループを作り活動を行った。担任も得意分野の活動を計画し、それぞれのグループに付き実践した。また、協力体制を強化したり専門性や質の向上を図るため、休憩時間を必ず取り、職員の交流を図ったり、リモート研修なども行った。（赤坂）園全体で子どもたちを見守る意識をより高めるために3.4.5歳児、1.2歳児、0歳・子育て・給食と3つのチームを作り、相互に助け合ったり保育のアドバイスをし合える関係作りを行った。子ども同士はもとより、職員間の横の繋がりが深まった。チーム会議にはクラスの職員全員が参加したことでみんなで意見を出し合える場となった。（東深津）子どもたちの発達について気になることを全職員で話し合った。個の課題には、どんな発達課題があるのか、どんな要因で子どもが困っているのかなど意見交換をし、全職員が同じ方向に向かっていけるように保育に取り組むことができた。	

(2) 施設

1 特別保育事業

大門未来園
今津未来園
赤坂未来園
未来園東深津

・延長保育・障がい児保育・休日保育（一時預かり・子育て支援）
・延長保育・障がい児保育・一時預かり・地域子育て支援センター・児童クラブ
・延長保育・障がい児保育・一時預かり・地域子育て支援センター
・延長保育・障がい児保育（一時預かり事業）

2 定員

大門未来園
今津未来園
赤坂未来園
未来園東深津

140名（うち1号10名）
150名（うち1号10名）
100名（うち1号10名）
19名

3 教育及び保育日数

・大門未来園は全日開園（365日）
・今津未来園・赤坂未来園・未来園東深津は月～土曜日（日祝祭日を除く297日）

4 教育及び保育時間

	開園時間	7時 00分	～	19時 00分		
2号 3号	標準時間	7時 00分	～	18時 00分	短時間 8時 00分 ～ 16時 00分	
	延長保育	18時 00分	～	19時 00分		延長保育 7時 00分 ～ 8時 00分 16時 00分 ～ 19時 00分
1号	設定教育時間	9時 00分	～	13時 00分	長期 休み	
	預かり保育	7時 00分	～	9時 00分		夏休み 8月 1日 ～ 8月 31日
		13時 00分	～	19時 00分		冬休み 12月 24日 ～ 1月 6日 春休み 3月 27日 ～ 4月 6日

5 年齢別児童数

()1号

	大門未来園			今津未来園			赤坂未来園			未来園東深津		
	4月	10月	3月	4月	10月	3月	4月	10月	3月	4月	10月	3月
0 歳児	6	13	19	6	12	19	1	4	8	1	5	5
1 歳児	20	24	24	23	23	23	18	18	18	8	10	9
2 歳児	24	25 -(2)	25 -(2)	23	23	23	21	21	21	8	7	7
3 歳児	26 -(3)	27 -(3)	27 -(3)	26 -(3)	26 -(3)	26 -(3)	24 -(3)	24 -(3)	24 -(3)			
4 歳児	26 -(3)	26 -(3)	26 -(3)	26 -(4)	25 -(4)	25 -(4)	23 -(3)	23 -(3)	23 -(3)			
5 歳児	27 -(3)	27 -(3)	27 -(3)	26 -(2)	26 -(2)	26 -(2)	24 -(5)	24 -(5)	24 -(5)			
計	129 -(9)	142 -(10)	148 -(10)	130 -(9)	135 -(9)	142 -(9)	111 -(11)	114 -(11)	118 -(11)	17	22	21

6 全体的な計画

計画別紙1

<

13 休日保育(大門)

・日曜日・祝日などに保育を必要とする1歳～5歳児の子どもを対象に休日保育を行った。コロナ禍も終わり、前年度より50名ほど増加し、延べ455名が利用した。

・今年度から、ネット予約ができるようになった。マイナンバーカードが必要だが、少しずつ利用が増えている。

・各園の職員から勤務希望者をつのり、出来るだけ多くの職員に出勤してもらえよう、担当職員が4園の職員会議にて呼びかけを行った。

収 入	運営費収入	4,867,520	支 出	人件費	3,187,925
	園児給食代	57,200		給食材料費	158,188
	収入計	4,924,720		水道光熱費	571,075
	収支差額	1,007,532		支出計	3,917,188

14 安全点検及び防災対策

・行方不明防止・発生対応マニュアルと緊急時対応フローチャートを職員全員で読み合わせ周知徹底している。

・園内の安全点検は月1回、担当者を中心に職員が行っている。大型遊具の安全点検は年1回、業者による点検を行っている。

・防災防犯訓練は月1回、様々な状況を想定した計画を立て実施している。

15 保健衛生

・医科・歯科健診は年に2回行い、尿検査や視力・聴力検査も行った。

・コロナ禍が落ち着き、職員、園児、保護者の手指消毒や検温を緩和したが、感染症発生、流行時には園内の消毒、保護者への啓発、行事等への対応などに取り組んでいる。

16 地域交流

コロナ禍が落ち着き、地域行事への参加・小学校交流・ほいくの園などコロナ禍前の状況に少しずつ戻ってきている。

17 実習・ボランティアの受け入れ

実習やボランティア活動の受け入れを積極的に行っており、中学生の職場体験も行った。実習生からの採用が3名あった。私立認可保育施設協会主催の就職説明会では、多くの学生の参加があり園説明を行った。そのうち3名が採用となった。

18 保護者・苦情

報告別紙3

19 各園の事業計画の反省

報告別紙4

(3) 職員

1 事務分掌

2 職員数 3月31日現在。(非常勤及び派遣職員は常勤換算して算定する。育休・産休職員も含める。)

	大門未来園						今津未来園					
	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計
正規	2	17	3	1		23	2	14	2			18
常勤		2				2		3	1	1		5
非常勤		11(7.5)	1(0.6)		③	12(8.1)		15(10.9)	2(0.9)	1(0.5)	③	18(12.3)
派遣						0		1(0.8)				1(0.8)
計	2	30(7.5)	4(0.6)	1			2	33(11.7)	5(0.9)	2(0.5)		

	赤坂未来園						未来園東深津					
	園長・副	保育教諭	調理員	事務・他	学校医	計	園長・副	保育士	調理員	事務・他	嘱託医	計
正規	2	14	2			18	1	4	1			6
常勤						0		1				1
非常勤		10 (6.2)	4 (1.9)	4 (2.0)	③	8 (10.1)		2(0.9)	1(0.4)	1(0.5)	②	4 (1.8)
派遣		1		1 (0.4)		2 (0.4)						0
計	2	25 (6.2)	6 (1.9)	5 (2.4)			1	7	2	1		

3 職員異動

	大門未来園												今津未来園											
	採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職		採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職	
	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日
正規	1			2				1				1				1	1	1			1	2		1
常勤														1										
非常勤							1						2	4				2					1	2
派遣														2						1			1	

	赤坂未来園												未来園東深津											
	採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職		採用		育休取得		育休復帰		転換		異動		退職	
	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日	当初	中途	継続	中途	当初	中途	増	減	増	減	中途	末日
正規	1					1	1		1	1		2									1			1
常勤								1			1													
非常勤		5									2			2									1	
派遣		1										1												

4 職員処遇

- ・人事院勧告により基本給1.6%の引き上げを行い、4月に遡り支給した。
- ・2023年度も処遇改善手当Ⅰがあったため、交付金の額に対応した額を算定し支給した。(全職員1月3月)
- ・2023年度も処遇改善手当Ⅱがあったため、リーダーに任用された職員へ交付金の額に対応した額を支給し、残額は次年度に繰り越した。
- ・処遇改善手当Ⅱが適用されない園長と子育て支援員の職員に対して、処遇改善手当Ⅰを毎月定額支給した。
- ・2022年度の処遇改善手当ⅡとⅢの交付金の残高を、一時金として支給した。(全職員1月3月)
- ・処遇改善手当Ⅲにより、基本給を3%加算しているが、交付金の残額があったため次年度に繰り越した。
- ・360°評価を基に算定した360°評価手当を支給した。(全職員)

5 職員採用

6月から採用試験を毎月第3土曜日に各園で実施し、9名が受験した。そのうち新卒保育教諭・保育士が7名、常勤臨時職員から正規職員に転換した職員が2名(保育教諭1名・事務員1名)

6 職員研修

- ・音楽指導研修「音はぐ」・・・大門・赤坂・今津未来園の3歳児を対象に、月1回ヤマハ音楽教室講師による歌や楽器あそびの研修を実施した。職員も指導方法等を学んだ。
- ・オンライン研修「ホイクテラスアカデミー」・・・園内で受講できるので、正規職員だけでなく非常勤職員も研修に参加することができた。
- ・八葉会研修・・・それぞれの園で同じ学年の担当者が互いの保育に参加し、意見交換をしながら学ぶ機会をもった。また、開催園では園内研修も兼ねて多くの職員の学びの場となった。

7 会議

- ・例年通り、各園で職員会議・保育会議・給食会議・イマコそ会議が定期的に行われた。
- ・経営会議・主幹会議も月1回行い、情報共有や意見交換が活発に行われた。

8 第三者評価・自己評価

今年度は大門未来園・今津未来園・赤坂未来園が第三者評価を受審した。各園職員全員の参加のもと、グループで一つ一つの評価項目の内容を検討し、話し合った。第三者評価の評価者の方から、運営や保育についていくつかご提案やご指摘をいただいたので、改善していくため取り組んでいる。

(4) 事務・会計

1 事務全般

- ・事務・人事管理・運営の簡素化及び適正化を図る
- …社労士などに相談しながら、職員の就労に係る規程の整理を行った。来年度はオンライン申請やDX化を進め、事務の負担軽減を目指す。
- ・本部機能の強化(人事管理・経営の適正化を強化する)
- …事務業務マニュアルの整備を行い、本部に監視機能を統合する内部統制機能の強化を図った。今後マニュアルの検討を進めていく。
- ・会計や内部統制機能の整備、各園の相互チェック機能の確立を図る
- …内部監査により、4園間相互確認と情報共有、書類の統一ができた。今後は会計処理の統一に向けてマニュアルの作成をしていく。
- また、今年度は定期的に事務会議を開催することができなかった。次年度は定期的な開催を計画していく。

2 歳出計画

① 人件費 人件費率 … 大門 (66.6%)、今津 (66.8%)、赤坂 (60.7%)、東深津 (61.3%)

② 施設整備・修繕・固定資産取得

③ 契約 (100万円以上)

④ 法人内借入・繰入

- ・処遇改善手当 … 支給額に応じて園間で流用を行った。
- ・賞与引当金 … 異動する正規職員の賞与引当金を園間で繰入する。
- ・本部繰入金 … 大門・今津・赤坂 (各15万円)、東深津 (5万円) また、本部経費の残額を本部から各園へ戻し入れた。
- ・拠点区分間長期借入金 … 大門・今津ら赤坂へ土地購入のため借入 (各300万円)

⑤ 借入金償還

- ・福祉医療機構へ返済 … 大門 (183万円)、今津 (459万円)、赤坂 (266万円)
- ・拠点区分間借入金返済 … 東深津から今津へ施設整備借入金の返済 (500万円)

⑥ 積立金(資金残高)

- ・施設設備積立金 … 大門 (1,000万円)、今津 (500万円)、赤坂 (1,700万円)、東深津 (200万円)
- ・人件費積立金 … 大門 (400万円)、今津 (500万円)、東深津 (150万円)

報告別紙5

① 理事会

日時	場所	理事	監事	議案・報告
2023/5/23	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 役員等報酬規程の改正（案）及び旅費規程の改正について 第2号 2022（令和4）年度 事業報告について 第3号 2022（令和4）年度 決算について （計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録） 第4号 役員（理事・監事）候補者の選定について 第5号 定時評議員会の招集について ・監事監査について ・理事長の職務執行状況報告について
2023/6/8	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 理事長の選任について ・中期事業計画について
2023/8/31	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 赤坂未来園 土地購入について 第2号 2023（令和5）年度 第一次補正予算について 第3号 評議員選任・解任委員の選任について
2023/12/6	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 給与規程及の改定について 第2号 2023（令和5）年度 第二次補正予算について ・赤坂未来園 土地購入について ・行政監査について ・理事長の職務執行状況報告について
2024/3/13	大門未来園	6/6名	2/2名	第1号 就業規則及び臨時職員の任用規程の改定について 第2号 2023（令和5）年度 第三次補正予算について 第3号 重要人事案件について 第4号 2024（令和6）年度 事業計画について 第5号 2024（令和6）年度 当初予算について 第6号 重要事項説明書の改定について 第7号 中期事業計画について ・行政監査について

② 評議員会

日時	場所	評議員	議案・報告
2023/6/8	大門未来園	6/7名	第1号 役員等報酬規程の改正について 第2号 2022（令和4）年度 決算について （計算書類及びこれらの付属明細書並びに財産目録） 第3号 役員（理事・監事）の選任について ・2022（令和4）年度 事業報告について ・監事監査について ・評議員選任・解任委員の選任について ・2023（令和5）年度 事業計画について ・中期事業計画について

③ 評議員選任・解任委員会

なし

大 門 未 来 園	・基本理念・基本方針・目標に沿った保育内容が実施できた。 ・コロナ禍もおわり、保護者参加の行事も例年通り出来るようになり、2部制にするなどの工夫をしながら人数制限をすることなく開催出来たものもあった。また、新しく移動動物園をして身近に動物と触れ合ったり、コロナ禍で小学生を呼ぶことができなかったため、小学生を招待し「遊ぼうの会」ができた。一年生から六年生までに声を掛け、玩具で遊んだり発表会のビデオを見たりと楽しいひと時を過ごすことができた。保護者には園行事の意義を丁寧に伝え理解していただいた。 ・園によりて、園で大切にしていることや頑張っていること、目標などを毎月載せた。毎月の目標は子どもにも分かりやすく伝え、掲示をして啓発した。 ・作品展や祖父母との交流会も継続して行っている。保育者の「やってみたい」をみんなで共有し、各クラス色々なアイデアを出し合い親子で楽しめる内容考えた。園での様子を伝える良い機会となった。地域の行事が減ってきているが、地域文化祭への展示、ふるさと散歩、祖父母交流会など、今後も積極的に地域への広報や参加をしていきたい。 ・オンライン研修を積極的にに行い、多くの職員が参加することができた。最新の情報をタイムリーに獲得できる上でとても有効だった。
5 歳	色々なことに挑戦をして難しいことがあっても友だちと励まし合いながら取り組むことが出来ている。また、友だちと関りながら遊ぶことが増えて意見が合わずトラブルになり、上手く伝わらない時手が出るがあった。その都度、保育教諭等も話に入り言い方などを伝えて少しずつ自分達で話しあえるようになっていく。自分の身の回りのことは出来るようになり、小さいクラスの子が困っていると自分から助けてあげる姿が見られている。
4 歳	様々な行事を通して最後まで粘り強く取り組む姿勢や、友だちとの協力することの大切さを学ぶことができた。また、普段の保育や遊びの中で友だちの思いに気付き、受け止めあって一緒に関わって遊ぶことを楽しむ姿が見られている。引き続き、いろんなことに取り組み、自信に繋がれるよう見守っていく。
3 歳	身の回りのことが自分の力でできるようになり、様々な活動にも自信をもって取り組むことができるようになっていく。友だちとの関わりも増え、自分の思いを伝えたり、相手の思いを考えたりすることができるようになってきた。その中で友だちの思いとぶつかり合ってしまうこともあるが、保育教諭等の仲立ちで気持ちに折り合いをつけることができるようになっていく。引き続き友だちとの関わりが広がるように環境を整えていく。
2 歳	身の回りの事を自分でする姿が増え、ほとんどのことを自分でできるようになっていく。まだ難しい部分がある子もいるが、保育教諭等の援助があれば頑張ろうとする姿がある。排泄面では、トイレでの排泄ができる子が増え、布パンツへの移行もできた。食事では、励まされたり援助されながら苦手な物も頑張って食べる姿が増えている。言葉も増え、理解力も高まってくると、友だちや保育教諭等のやり取りが増え、関わりながら遊んだり過ごしたりすることも増えた。それにより友だちとの気持ちのぶつかり合いの中で、素直に伝えられなかったり気持ちに折り合いをつけることが難しくなったりする姿も見られている。子ども同士で話し合う姿もあったので引き続きそういった姿は見守るようにしながら保育教諭等が仲立ちをして伝え合えるようにしていく。
1 歳	身の回りのことに興味を持ち始め、簡単なできることを意欲的に取り組む姿が見られるようになった。また、最後まで自分でしたいという思いも強くなり、時間がかかってもやりきることができている。友だちとのかわりも深まっていき、声を掛けたり手を差し伸べたりしながらあそびに誘い、仲良く楽しんで遊ぶ姿も見られるようになった。また、困っている友だちがいたら手伝ってあげたり、涙が出ている友だちには顔をなでてあげるなど優しい姿も見られている。
0 歳	初めての環境の中で安心して過ごせるように関わった。一人ひとりの生活リズムに合わせて午睡の時間を変えたりミルクを飲んだり家庭での様子を聞いたりした。また、食事の移行も給食時の様子や発達の様子を見ながら無理なく進めることができた。できる事が少しずつ増え、簡単なことであれば身の周りのことも頑張る姿がある。
給 食	食育では年齢に応じた内容で行い、様々な食材に触れる体験や食材調べなどをしてたくさんの気づきを得られた。また、菜園活動を通して種まきから収穫までの期待感、生長での喜び、育てる大変さを感じながら多くの学びがあり、その後のクッキングに繋げて苦手なものでも食べられるようになる姿が見られた。誕生会メニューでの創作料理はまだ作ってみたことがないもの、行事にちなんだもの（お花見弁当、恵方巻、ハロウィンプレートなど）も取り入れた。ドキュメンテーションにも挑戦をして、食育や調理の風景を保護者に知らせるようにした。
今 津 未 来 園	・事業計画、全体的な計画、理念に基づいて保育を行うことができた。特に重点を置いて取り組んだ点は縦割り保育で、子どもたちにとっても様々な行事や保育、生活を通していろいろなクラスとの関わりを持つよい機会となったが、もっと回数を増やしていきたいと感じたので、しっかりと計画を立てて実践しなければという反省がでた。 ・コロナが5類になり、園内の行事や園外の行事が通常通りに行うことができるようになった。地域や小学校との交流や保護者が実際に子どもの姿を見る機会が多くなり、できることの幅が広がった。良い点は残り改善する点は工夫をしながらさらに行事がよくなるように園内で検討をしていきたい。 ・小学校連携については交流の場が増え、お互い研修に行き合うことでしっかりと連携がとれた。意見交換をすることもできた。近隣の園（5所交流）とも集まって交流することができ、子どもたちもしっかりと関わりをもてた。次年度は同じ八葉会の5歳児とも交流する場をつくっていききたいと思う。
5 歳	身の回りのことは自分ですることができる。行事や活動の中で、クラスの一員としての自覚が芽生え、苦手なことも友だちの姿に刺激を受けながら切磋琢磨し合う姿が見られるようになった。いいことも悪いことも互いに知らせ合いながら、やり遂げる達成感を感じ成長している。
4 歳	人の話を最後まで聞き、自分がどのように行動したいのか考えながら行動した。当番活動をすることで掃除をしてきれいな環境で過ごすことの大切さも気づけるようになった。友だち同士でのトラブルもあったが自分たちで解決しようとする姿も見られるようになった。

	3歳	少しずつ生活習慣を身につけてきており、自分で考えて行動することが増えてきており、自分で気づいたことを友だちと教え合ったりすることができた。思いを自分なりの言葉で伝えようしたり、友だちの思いを聞こうとする姿もありながらもトラブルの際は自分の思いを通そうとすることもあった。仲立ちをしようとする子もあり、自分たちで解決しようとすることもできた。
	2歳	簡単な身の回りのことを自分でできるように取り組んでいった。甘えから保育教諭等にしてもらおうとしたり、周りのことが気になり、手が止まる姿が見られたが、励ましたり、そばで見守りながら一緒にし、自分でできるように関わっていった。また、あそびの中で、楽しみながら運動機能や手指の発達を促すことができるようにしていった。
	1歳	2クラスで少人数で過ごすことができ、一人ひとりとゆっくりふれ合うなかで安心して過ごせた。身の回りのことに興味関心を示し自分でできることが増え、できたことを一緒に喜んだり、園内外での探索活動を楽しむことができた。また、保育教諭等や友だちの真似をしながら、身体を動かしたり歌ったり踊ったりなど表現を楽しんだり、言葉で思いを伝えることができるようになってきた。
	0歳	友だちに興味を持ち、名前を呼んだり、一緒に活動を取り組むことを喜ぶ姿が見られた。保育教諭等が仲立ちをしながら一緒に遊ぶことを楽しめるようにしていった。また、個々に合わせながら身の回りのことを自分で行う姿を見守っていった。出来たことを十分に褒め、自信に繋がるよう職員間で共通認識を持ちながらかかわっていった。
	給食	各年齢に応じて食育活動が行えた。すなっぷえんどうのすじとりや、そら豆のさやとりなど旬の野菜に触れ給食のお手伝いをしてもらったり、全クラスで協力してカレーを作ったり、菜園活動で採れた野菜でクッキングや給食をお弁当箱に詰めたりとクッキングも行えた。また、給食やおやつレシピや三色表の色分けなどを掲載し保護者のかたにも伝えることができた。
赤坂未来園		・昨年度は笑顔であいさつ・子どもの心に寄り添う・チーム保育を重点に取り組んできた。まず保育者が手本となるよう、笑顔であいさつを意識することで年長児などは挨拶が身についてきた。今後も継続して取り組みながら子どもたちに良い習慣をつけていけるようにしたい。チーム保育に取り組むことで、園全体で子どもたちを見守り、寄り添いながら保育を進める意識が根付いてきた。昨年度はチームの意識から職員を含めクラス間の横の繋がりを深めることができてきたので、来年度は横の繋がりを踏まえて縦のつながりも意識して取り組みたい。 ・行事についてはコロナ禍を過ぎ、デイサービス慰問や園内行事への参加人数の人数制限の緩和など少しずつ行事が様変わりしてきた。感染症の流行状況を見ながら今後も工夫をしていきたい。 ・昨年度も園に隣接している小学校との連携を密に行った。小学校と合同避難訓練を行い、災害に対する意識を共有した。また、小学生や先生が園に行き来する機会も多く設け、交流を深めることができた。
	5歳	子どもたちも竹馬や和太鼓活動など積極的に取り組み、繰り返し取り組む中で団結力が生まれ、達成感を味わい次の活動にも意欲的に取り組んできた。 また、気持ちの面でも強くなり、何事にも挑戦する意識を持つことができるようになった。
	4歳	あそびや行事を通し、自分ひとりではできないことも友だちと力を合わせるとできることがあることに気づき、友だちの大切さや一緒に遊ぶ楽しさを感じることができた。クラスのために自分ができることを考えて意欲的に動く姿や、友だちの思いに気づき、助けてあげる姿がみられるようになってきた。
	3歳	簡単なルールのあるあそびを多く取り入れていくことで、友だちと関わることを楽しむ姿が見られた。運動会や発表会の練習を通して、友だちへの気持ちの持ち方が変わり、困っている子や泣いている子に大して声を掛ける姿が増えてきた。
	2歳	保育教諭等や友だちとのやりとりを楽しみ、自分の思いが伝わることに喜びを感じる姿が見られた。友だちと関わってあそぶ中で、考え方や思いの違いからけんかなどを経験し、違う考え方にふれ、相手を思い合ったり自らの気持ちに折り合いをつけようとする姿が見られるようになった。
	1歳	一人ひとりの気持ちに寄り添っていき、信頼関係を築いていくことや安心してできる空間づくりを心がけた。保育教諭等や友だちと言葉やしぐさで簡単なやり取りを楽しむ姿が見られた。やりとりを通して自分の思いを伝えようとする姿が見られた。
	0歳	一人ひとりの子どもとのかかわりを深め、愛着関係を大切にしながら過ごすことができた。子どものやりたい気持ちを尊重し、“できた”という気持ちを積み重ねていくことで自信がつき、子どもからの発信をたくさん受け取ることができた。
	給食	畑での菜園活動やクッキング、毎月の食材調べを通して食材にふれる機会を多くつくることができた。自分たちが作った野菜を使ってクッキングをすることで、苦手なものに挑戦する姿も見られた。三色表やクラスでの給食時間を使い、食べ物大切さやからだとの関わりを伝えることができた。

未 来 園 東 深 津		・基本理念・基本方針・目標に沿って計画をし実施出来た。 ・個々の発達面も考慮し丁寧な保育を行った。中でも保護者との連携は、家庭での様子を聞きながら園での様子を細かく伝え、保護者からの相談にも応じていきながら、無理のないよう個を認めていけるよう細やかな関わりを持っていけるよう、日々保育をした。 ・コロナ禍も過ぎ、今までできなかった行事が、少しずつすることができた。特に園児の祖父母の方の参観では、遠い所から来られ、子どもたちとおやつを食べたり、触れ合うことも出来大変喜ばれていた。連携園との運動会・とんどなどに参加し、地域の方との繋がりもできそうである。また中学生の職場体験の場を設けることも出来新年度は地域の方たちとの連携も前向きに進めていきたい。ミニ発表会では、舞台設定・観覧、各クラスごとのテーマが違いクラスごとの時間設定で行った。また退園式も舞台設定を変え対面式で、子どもたちの様子を見てもらうことも出来良かった。色々な環境の中で行う事もよかった。
	2 歳	食事やトイレトレーニングを個々の発達に応じて丁寧に行っていた。最初は1人で出来なかったことも保育者に見守られながら頑張る姿が見られた。言葉が巧みになってきて、友だちとのトラブルや気持ちのすれ違いも見られたが、その都度ルールや園での決まりを知らせ、保育者や友だちと話をする喜びを感じたり気持ちを知ることができた。戸外や室内で体をしっかり動かしていったことで、怪我に気を付けながら運動あそびを楽しむ姿が見られた
	1 歳	十分にスキンシップを図り信頼関係を育んでいった。表情や仕草、言葉から子どもたちの思いを汲み取り甘えや欲求を満たしていった。子どもの興味に合わせて活動を取り入れたり、子どもの発見に足を止め一緒に見つけた喜びに共感していった。一人遊びから少しずつ友だちの真似をしたり遊びに誘ったり保育者の仲立ちの元、他児とのかかわりを楽しむ姿があった。
	0 歳	日々の保育者とのやり取りを通して信頼関係を築いていった。子どもの表情を見ながら気持ちを汲み取り、受け止めて関わるようにしていった。台や机の上に登ることがあったので、怪我をすることのないように注意してみるようにした。また危ないことを伝えていった。服が汚れたら着替え、清潔を保てるようにした。お帳面でのやり取りや送り迎えなどの時には園の様子や家庭での様子を伝え合い、連携をとっていた。
	給 食	苗植えなど、野菜の生長を観察し、収穫したものは給食でその食材が出てきた際にも、保育者の声掛けもあり、苦手なものでも食べようとする姿が見られた。三色表は計画に入れていたが、年齢的にまだ早かった。まずは食材の形と名前を覚えるところからだと思った。一部のクッキング活動が感染症の流行のため、実施できなかった。

保護者苦情		別紙3
大門 未来 園	<令和5年9月1日 濡れタオルについて> 玄関ポストに匿名で、「9月から持参する濡れタオルについて、まだまだ暑い日が続く中、濡れたタオルを持参して体を拭いてもらうのは衛生的に不安です。新しいタオルを毎日準備できたらよいのですが、難しいです。乾いたタオルを持参し、園で濡らして使用してほしい」と手紙が入っていた。プール遊びが終了し、9月からは汗を拭くための濡れタオルを持ってきてもらうように保護者に伝えた直後だった。早急に職員全員に知らせ話し合い、乾いたタオルを使用するようにした。他の保護者にもボードで変更を知らせた。	
今津 未来 園	<令和5年4月12日 タオルがなくなっていた件と降園時の対応について> 帳面にて保護者より2点のことについて記載があった。1つは以前持参して無くなっていたタオルが突然かばんの中に入っていた。何の説明もなく、どうしたことなのか。2つ目は降園時に迎えに行った際、別の子どもを渡そうとした。間違えたのに職員が笑いながら対応に出てきた。どのような保育をしているのか、園長も交えて話がしたいとのことだった。園長・担任の3人で話し、内容を確認した。後日保護者と時間設定をして面談した。年度初めて子どもと保護者の顔が一致していなかったり、物の入れ間違いがあったことを謝罪し、今後そのようなことがないように園全体で気を付けていくことを伝え、理解を得た。	
赤坂 未来 園	<令和5年①4月4日 ②8月3日 登園しづりについて> ①保護者からの電話にて、今までは普通に登園していたのに新しいクラスになって登園しづりが始まった。祖父母に送迎を頼んでおり祖父母が困っているとの相談を受けた。園長、担任、保護者の4人で話し合いを行った。子どもの不安な気持ちに寄り添っていくこと、接し方を変えていくこと、継続的に話をしていくこととした。担任はこまめに保護者と連携をとり見守りを行った。5月に園長、担任の3人でその後の様子を聞く場を設けた。登園しづりもなくなり保護者も安心された。 ②同じ組の別の保護者から、給食中、小食で好き嫌いがある子供に対して担任はしっかり食べてほしいという思いから、子どもの気持ちに反して食べさせてしまい、それをきっかけに給食が怖くなり登園しづりが始まったとの相談があった。園長、副園長、担任、保護者の4人で話し合いを行った。今後は安心できる環境のなかで食事をとれるようにすること、本児が登園できるように全職員で見守るようにしていくことで理解を得た。職員会議で共有を行うとともに、たくさんの目で子どもたちを見守っていけるよう組織編成を行った。	
未来 園東 深津	<令和6年2月3日 子ども同士のトラブルについて> こどものおもちゃの取り合いから、顔を引っかかるトラブルに発展した。双方の保護者には報告したが、顔を引っかかる子どもの保護者から園へのメールで相手の保護者からの謝罪が無いことへの不満が書かれていた。その後、顔を引っかいた子どもの保護者から謝罪をしたいという申し出があり、園長と両保護者で話し合いを行った。まずは、園で起きた子ども同士のトラブルなどの責任は園にあり、子ども・保護者方には責任がないと言うことを伝え、園よりお詫びをさせていただいた。顔を引っかいた子どもの保護者からの謝罪の後、お互いの気持ちをしっかり話しあうことで理解を得ることができた。今後も保護者の子どもへの思いを大切に、対応していきたい。	

大門 未来 園	① 生活やあそびの中での主体的な保育と実践（多様性の中の保育・エピソード記録活用） 保育会議でエピソード記録をしたり、日々の出来事をクラスの前に掲示して保護者に伝えたりと、写真を用いて分かりやすくしていった。職員が全て決めていくのではなく、子どもからの「○○がしたい」と言う声をしっかりと聞き、保育に取り入れていった。 ② 粘り強く取り組む力、豊かな感性の育成（発達の連続性を踏まえた保育内容の見直し・行事の取り組み方の工夫） 今年度より体操教室を月2回行った。鉄棒や縄跳びなど日々の保育にも取り入れ、苦手でも諦めずに取り組む姿が見れた。また、異年齢での活動も継続し、優しさや憧れの気持ちが芽生えてきた。コロナ禍も落ち着き、小学生や地域の方を招いた行事もできるようになった。 ③ 人権を尊重した保育を続けていくための職員の学びとコミュニケーション構築（積極的な研修受講・サークル活動など） 研修はオンラインが主体となり、どの職員も受けることができ、様々な分野の研修を受け知識が深まった。今年度から取り組んだサークル活動では、見学者に園の様子を分かりやすく伝える資料作りや、菜園活動、行事での和太鼓発表等、したいことを一緒にする良いきっかけとなった。
今津 未来 園	① 職員の資質向上に向け、研修などの活用とチーム保育の場の構築（リトミック・ベビーマッサージ・縦割り保育など） 職員研修はリモートを利用することで、正規臨時パート関係なく受けることができ、知識を深められた。今後は学んだことをどう現場で実践していくかそれぞれが目標を持ちながら資質向上につなげていきたいと思う。チーム保育に取り組む中で重点をおいた縦割り保育は、やっていく中で難しさや反省点が出てきたため、その都度話し合い計画を見直し実践した。その中で子ども同士で共に学び合い、成長していく姿をみることができたり、思いやりの心を育むことが出来たように思う。次年度は反省を活かし、計画をしっかりとていく。 ② 園児や職員、保護者にとって安心して生活でき人の痛みがわかり、寄り添える集団作りを目指す 職員同士が集まる機会を作り、お互いに話をする中で情報を共有したり、コミュニケーションをしっかりとる事でそれぞれの悩みや思いを言い合える関係づくりができみんなが安心して過ごすことができるような職場づくりと同時に子どもや保護者に寄り添えるよう関係づくりを行っている。会議などでも話し合いをしっかりとて人の痛みに敏感に気付ける集団でありたい。 ③ 保護者支援・子育て支援事業内容の検討と充実を図る 保護者の話にしっかりと耳を傾けるようにしていった。子育て支援については個々の対応を心掛けたり様々な講座を工夫・計画したが、まだ実践につながっていない物もあるので保護者のニーズ等もしっかりリサーチしながら次年度に繋げていきたいと思う。
赤坂 未来 園	① 職員間や法人内での交流・協力をしチーム力を高める（テーマごとの会議、少人数での話し合いなど） 昨年の9月からチーム保育に取り組んだことで職員が周りへの目配り、気配りを意識することでクラス間（主に横）のつながりが深まってきた。横（チーム内）のつながりが深まった一方で他チーム（縦）のつながりが希薄になったという職員の声もあるため、次年度は横と縦のつながりを深め、線のつながりから面のつながりになるよう意識したい。 ② 子どもや地域の方が笑顔になるように、職員発信の元気で明るい挨拶運動 職員⇄子ども、職員⇄大人（保護者・職員）の挨拶は積極的に行う習慣がついてきた一方で、子ども・職員⇄外部の方への挨拶の習慣化の弱さを感じている。次年度は園内のみならず外部の方への挨拶の習慣化を意識していきたい。 ③ 職員一人一人が、自己肯定感を高めながら個々の質の向上を目指す（職員のキラリハットなど） チーム保育開始時に各会議にて職員お互いの良い面を付箋紙で出し合い、見える化を行なった。全職員の良いところを見合うことで自分の良さにも気づき、自信につながった。今後はお互いが相手に見つけた良さを自然に伝えあえる関係性を深めていきたい。
未来 園 東 深 津	① 目に見えない背景、気持ちを想像し、寄り添う事でより良い信頼関係を築く 個々の発達の違いが多々ある中で、個の行動を読み取り、それにはどういう思いがあるのか、目に見えない背景は何なのかを職員で話し合い、どのようにしていくのか考え同じ方向性を持って保育にあたった。保護者の方とは日々の様子を丁寧に話をしていく中でコミュニケーションをより深めることができ、信頼関係が築けた。 ② 連携園や姉妹園との交流や情報交換の積極的参加（姉妹園の運動会への参加） 卒園児の連携園への継続にあたり、東深津保育所・こども園ふかつ・大門未来園への希望者がいた。各園の見学を含め運動会の案内をしたり、東深津保育所での運動会やとんどへ参加することができた。大きい施設へ向い他園の雰囲気を楽しむことができた。 ③ 心と体のバランスのとれた子どもの姿をめざす（リトミック・発達に応じた運動あそび） 姉妹園から職員に来ていただき、リトミックを年間通して行う事ができた。曲を聞いての反応もよく身体を使って表現を楽しむ事が出来た。数回ではあるが職員が普段の保育の中で実践できたので、もっと実践の場が出来るとうい。年間通して、鉄棒・バランス平均台・トンネル等を使って身体を動かす事が出来た。バランス感覚、腕・手など力を使うあそびをもっと経験させていきたい。

① 施設整備・修繕・固定資産取得（100万円以上）

	契約日	物 品 名	金 額
大 門	2024年1月15日	スチームコンベクション	1,496,000
	2024年3月15日	すべり台	1,500,000
	2024年3月28日	5 歳児保育室、一時預かり室、ステージ床修繕	2,423,183
	2024年3月28日	低年齢児園庭人工芝生	4,620,000
今 津	2024年1月26日	テラス屋根設置工事	2,000,000
	2024年2月15日	乳児園庭人工芝生	1,283,300
	2024年3月25日	砂場日除けオーニング設置	1,337,600
	2024年3月31日	床研磨、フロアコーティング	1,397,000
赤 坂	2023年12月8日	赤坂土地（園舎）	31,600,000
	2023年12月8日	赤坂土地（西側畑）	14,512,874
	2024年2月15日	アンパンマン屋外遊具	1,113,750
東	2024年2月15日	園庭遊具コラボドット	1,370,000

② 施設整備・修繕・固定資産取得（10万円以上）

	支払年月日	物 品 名	金 額
大 門	2023年5月15日	ノートパソコン	115,280
	2023年7月14日	デスクトップパソコン	168,960
	2023年8月17日	園庭掛け型ソーラー時計	238,150
	2023年8月17日	園庭掛け型ソーラー時計柱舗装工事、パネル交換	310,310
	2023年9月15日	AED CU-SP1	190,300
	2023年11月16日	総合遊具ネット交換	122,100
	2024年1月15日	エコキュート	456,500
	2024年1月15日	職員室床修繕	683,430
	2024年2月15日	乳児室畳張替え	185,700
	2024年2月15日	ノートパソコン	142,780
	2024年2月15日	デスクトップパソコン 2台	351,120
	2024年2月15日	アンパンマン木絵時計	165,000
	2024年3月15日	食器消毒保管庫	643,500
	2024年3月15日	クリームパンダ像	118,000
	2024年3月22日	冷蔵庫	175,000
	2024年3月27日	職員室給湯室改修工事	636,000
	2024年3月27日	2 歳児室床修繕	200,000
	2024年3月28日	電子黒板	611,600
	2024年3月28日	保護クッション	121,000
今 津	2023年4月14日	デスクトップパソコン	137,280
	2023年5月8日	ヤマハ中古ピアノ	297,000
	2023年6月15日	床研磨、フロアコーティング	981,530
	2023年7月14日	エコキュート	494,780
	2023年9月15日	AED CU-SP1	190,300
	2023年11月15日	渡り廊下屋根改修工事（ひよこ）	158,000
	2024年1月30日	巧技台Cセット	465,000
	2024年2月22日	デスクトップパソコン 4 台	610,720
	2024年2月12日	テラス床張替え	913,000
	2024年3月15日	テラス屋根雨水排水接続	200,000

赤坂	2024年3月15日	テラス屋根追加延長接続	350,000
	2024年3月25日	収納庫A4浅型 3列10段深型 3列	105,930
	2024年3月25日	ノートパソコン	142,780
	2023年3月30日	ローランド電子ピアノ	140,000
	2023年5月15日	ゴムチップ施工工事	990,000
	2023年8月15日	エアコンクリーニング	420,000
	2023年12月15日	のり鉄ベンチ 3台	382,800
	2024年1月13日	電子ピアノ	110,000
	2024年2月15日	DELLデスクトップパソコン	153,780
	2024年3月15日	アンパンマン木絵時計	165,000
	2024年3月21日	DELLデスクトップパソコン	153,780
	2024年3月21日	DELLノートパソコン 3台	428,340
	2024年3月26日	デューズリッター裁断機	203,500
	2024年3月26日	ウレタンマット	118,690
	2024年3月26日	扉付きロッカー 3台	356,950
	2024年3月26日	システム収納3枚引違戸	105,270
	2024年3月26日	ソフト跳び箱	145,350
	2024年3月26日	アルミにこにこテーブル	209,000
	2024年3月26日	ハイハイの丘	299,000
	2024年3月30日	アンパンマンお知らせプレート	220,000
	2024年3月30日	アンパンマン木絵時計	165,000
	2024年3月30日	トゥインクルタウン	609,000

③ 契約の状況（100万円以上）

	契約日	物 品 名	金 額
		なし	